



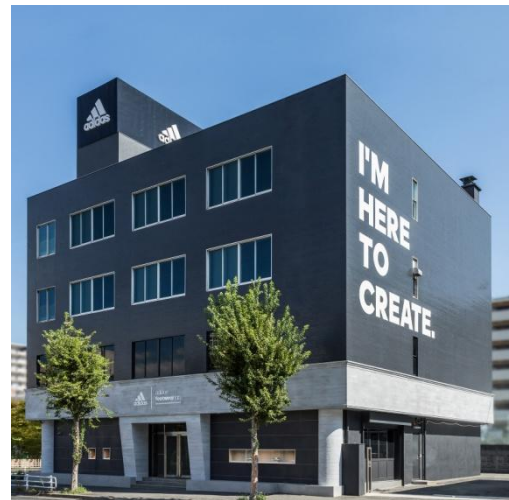
PRESS RELEASE

<報道関係社各位>

2017年10月2日
アディダス ジャパン株式会社

2020年に向けたアスリートサポート他、次世代クリエイターの創出を目指すプロジェクト アディダス史上国内初のフットウェア開発施設、名称と開業日が決定 **adidas footwear lab 2017年10月4日 開業**

<https://youtu.be/TfrvaDlzze8>



マルチスポーツブランドのアディダス ジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：ポール・ハーディステイ）は、2020年に向け、世界の舞台で戦うアスリートのフットウェアカスタマイズ、およびグローバルで展開する定番商品のフットウェア開発（※1）を行う新たな開発施設の名称を「adidas footwear lab（アディダス フットウェアラボ）」に決定し、2017年10月4日（水）に開業することを発表します。この開発施設を基軸に、日本発の技術や次世代のシューズクリエイターの育成などを目指すプロジェクトを始動します。

【施設概要】

- 名 称： adidas footwear lab（アディダス フットウェアラボ）
- ロ ゴ：



- 所在地： 兵庫県神戸市長田区一番町5丁目8
- 開業日： 2017年10月4日
- 面積： 906.86㎡（地下1階～2階までを含む延床面積）
- 主な利用対象者： アスリート、アディダスフットウェア販売関係者、シューズクリエイター等
- 主な役割：

- ・ アスリート向けのフットウェアのカスタマイズサポート
- ・ ラスト（木型）開発、アッパーデザイン監修、パターン作成などを中心とする定番商品開発（ドイツ本社が指揮する商品開発の一部の開発工程をサポート）
- ・ 国内の店舗スタッフや販売パートナーへのフットウェアの専門教育全般
- ・ 世界中のシューズクリエイターに対する人材教育

上記全てにおいて、adidas footwear lab ディレクターの大森敏明氏が監修。

同施設は、世界最先端レベルの計測、テスト機器、さらにハイスペックの製靴機器を備えた、アディダス史上日本国内初のフットウェア開発拠点です。1999 年からアディダス シューズ クリエイションアドバイザーとしてアディダスの事業に携わり、「adizero (アディゼロ)」(※2) の生みの親でもある大森敏明氏がディレクターに就任し、選び抜かれた経験豊富なスタッフとともに、次世代シューズの開発を行います。アディダスと大森氏とのコラボレーションを通じ、彼の監修のもと、アスリート向けシューズのカスタマイズサポートを行い、そのノウハウを活かして、ラスト (木型) 開発、アッパーデザイン監修、パターン作成を中心とする、グローバル展開の定番商品開発も担います。さらに、全国のアディダスシューズ販売者に対するフットウェア専門教育に加え、世界中のシューズクリエイターに対し、次世代に向けた人材育成を行います。また、同施設は全世界におけるアディダスのアスリートサービス (※3) のネットワークとも連携しており、既に計測済みの選手であれば、そのデータをもとに日本国内にてシューズを製作することが可能です。

アディダスにとってフットウェア事業は、特定の 카테고리 のみに留まらず、ランニング、フットボール、ベースボールなど、ジャンルを超えて、スポーツパフォーマンス事業全体の要となっています。特に、2020 年に向け、今後様々な競技にて日本のスポーツ人口の増加が想定され、さらに日本のアスリートが世界的な大会で最高のパフォーマンスを発揮するためにより充実したサポートを実現すべく、今回の新施設の設置にいたしました。

これにより、アディダスが 2020 年に向けて掲げる、スピード、オープンソース、キーシティを 3 本柱としたビジネス戦略『CREATING THE NEW』を推進するプロジェクトとして、今後アディダスの日本における成長を更に牽引していきます。

※1 世界中で展開する一般商品の開発には様々な工程がありますが、当施設では一部商品のラスト (木型) 開発、パターン作成を中心に対応し、ドイツ本社が指揮をとる開発工程の一部をサポートしています。

※2 「adizero」はアディダス ジャパンが開発した、軽量化・スピード、快適なフィッティングを追求したフットウェアコンセプトです。「日本人ランナーに最高のフィット感を提供すること」を目的として、大森敏明氏の協力により、0.01mm 単位までこだわって生み出した究極のラスト (足型) が原型となっています。2005 年に日本で開発して以来、その後世界中で展開され、ランニングのみならず、テニス、バスケットボールなどの幅広いカテゴリーで採用される、アディダスを代表するフットウェアシリーズとなっています。

※3 「アスリートサービス」はアスリートが最高のパフォーマンスを発揮するための最適なプロダクト・サービスを提供することを目的とした施設です。2011 年 10 月にドイツ本社にて開設後、2012 年には米国ポートランド、さらに 2013 年 6 月には東京 (六本木) に設置されています。

開業するにあたり、10月2日に実施した報道関係者向け発表会で、アディダス契約アスリートの松井千士選手（ラグビー）、岩崎悠人選手（フットボール）、一山麻緒選手（女子陸上）によるトークセッションを開催しました。

パフォーマンス時のフットウェアのこだわりについて、岩崎選手は「アッパーのフィット感を重要視しています。ボールタッチやステップも上手に踏めるので（大切ですね）」とコメント。一山選手は「神戸は（練習拠点の京都からは）電車で1時間と近いので、チームのみんなで行きたいです」とコメントしました。また、2020に向けての自身の目標について、松井選手は「ラグビーにとっては2020年も、2019年も重要な1年になる、どちらも日本の代表となれるように頑張りたい」と意気込みを語りました。



©2017 adidas Japan K.K. adidas and the 3-Stripes mark are trademarks of the adidas Group.